



Title		Client		Used on	
LL1538/LL1578 Evaluation Board Circuit & Connection		Model		LL1538EVA	
Size: A4	Number:	Revision:		Drawn by G.W	
Issue:	Revised	Sheet 1 of 1		Approved by	

LL1538EVA 評価基板について

このプリント配線基板(以下基板)は、LUNDAHL 社製オーディオ・トランスの評価用基板です。対象となるオーディオ・トランスは、LL1538 / LL1538XL / LL1578 / LL1578XL を想定しています。この基板では基板上のジャンパー・ポイントを用途に応じて適直接続することが必要です。回路図を参考にメッキ線などでジャンパーをかけてください。

■ 基板仕様

- ・基板厚 $t=1.6$ 、外形サイズ 40mm x 70mm、ガラス・エポキシ片面基板、半田面レジスト仕上げ、部品面シルク印刷
- ・基板取付穴は 30mm x 60mm 間隔(外形から 5mm ずつ内側)に 4ヶ所、穴径は $\phi 3.5$ です。
- ・配線材用の穴径は $\phi 1.5$ です。4つのジャンパー・ポイントと Shield 穴、Case 穴は $\phi 1.0$ です。

■ 接続参考図について

- ・参考としてキャノン・コネクタへの配線を 2 番ホットで示してあります。
- ・基板上の Shield 穴と Case 穴をメッキ線などでショートすると、シールド・ラインを基板の固定用ホール+金属スペーサを使ってケース(シャーシ)に落とすことができます。
- ・ジャンパー・ポイントのつなぎ方で 1 次側の複巻線の接続方法が変わります。回路図を参考にしてください。直列・並列いずれかのジャンパーを設定しないと信号は出力されませんのでご注意ください。

■ 半田付けについて

- ・配線材はできるだけシールド線をお使いください。シールド線は作業効率は落ちますが外来ノイズなどに対して有効です。特に 1 次側の配線には 2 芯シールド線をお勧めします。2 次側はシールド線あるいは AWG22 前後のビニル被覆撚線をお使いください。
- ・トランスのピンを基板に半田付けする際は、十分な熱容量をもった半田ごてを使い、長時間半田ごてを当てないようにしてください。半田ごてを当てる時間は、1ピンあたり数秒以内にしてください。
- ・グラウンドがベタ・パターンのため、グラウンド・ピンはサーマル・ランドにしてあります。それでも他のピンより半田ごての熱を奪われやすいので、半田付け不良などにご注意ください。
- ・半田付けの際は火傷にご注意ください。

■ ご使用上の注意

- ・トランスの巻線には絶対に DC(直流電流)を流さないでください。コアが磁化されてしまい、周波数特性や歪率が大幅に悪化します。トランスの断線を調べるためにテスターを使ってはいけません。テスターの抵抗レンジは被測定物に DC を流して抵抗値を測定します。